

優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル agri-house 「アグリハウス」

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造

講評

山形県はグリーンツーリズムの盛んな所。他者が入る体験型農家の居住スタイルには、リフォームのほうが絶対なじみが良い。ただし本作程度に抑え、くれぐれやりすぎないこと。足りないくらいが利用者にはちょうど良い。



リフォーム前



1 リフォーム前



2 C 座敷



D 座敷より茶の間を望む



E 廊下



F サンルーム



J リビング



工事中



3



A

B 茶の間より座敷を望む



H 廊下



G 釘隠しは再利用



I サンルーム



K ダイニング



L 主寝室

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【リフォームの動機】

建築主は、農業の次世代を担う意欲ある農家の方です。100年経った家を建替えるよりも、旧家をリフォームすることを選択した。

【設計・施工の工夫点】

ご主人の希望であるグリーンツーリズムなど農業体験のできる環境を作るうえで、「家」は重要な役割がある。人の集まれる「公」の部分と省エネ性能を重視した「私」の棲み分けを明確にし、故郷を感じる意匠にもこだわった。

性能向上の特性

耐震性能、耐久性、バリアフリー性能、温熱性能、防犯性能、室内空気環境

データ

特に配慮した事項

布基礎を新設し、壁充足率は1.5以上を確保。配管材料は交換。床下壁天井の断熱材施工。建具は二重ロックや複層ガラスの採用。シックハウス対策24時間換気設置。LEDの採用。

2階屋の屋根やフレームを残し下屋を広げたため、力を伝達させる構造施工には特に注意をした。

【施主の感想・満足度】

庭まで見渡せる吹抜けの廊下は特に気に入っている。茶の間は狭くなったのに、以前と同じような広さを感じる。

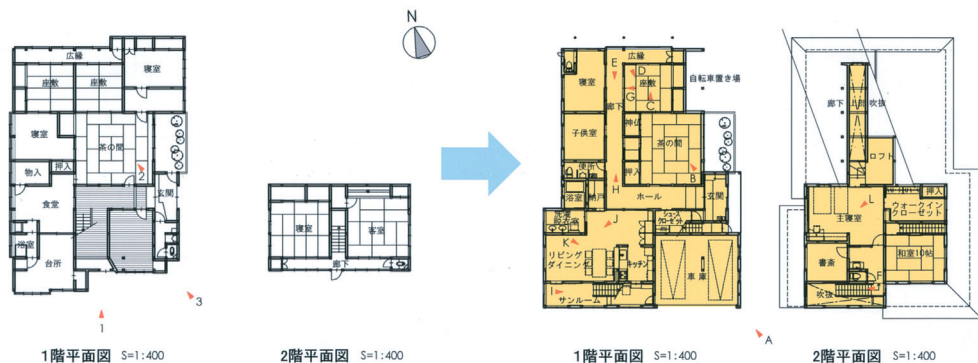
【住宅の価値を向上させた内容】

新築と同等の性能を確保。外壁は通気工法で気密性を高めた。

所在地	山形県鶴岡市	築後年数	約100年	施工期間	260 日間
該当工事面積	282.07 m ²	総工事床面積	316.79 m ²	該当部分工事費	3,800 万円/総工事費 4,100 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 3 人/65歳以上: 人/15歳未満: 2 人/ペット:				
設計会社	(株) アス設計	担当者	竹下 啓子		
施工会社	(有) アトリエイマジン	担当者	渡部 芳幸		

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分